

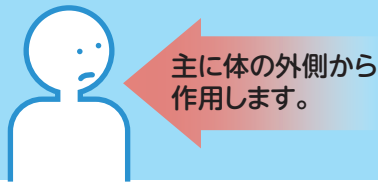
用語解説 01



内用薬（ないようやく）

口から飲み込み、胃や小腸で溶けて吸収させる薬のこと。内服薬や飲み薬という場合もあります。錠剤やカプセル剤の他、散剤や顆粒剤などの粉薬、シロップ液などの種類があります。

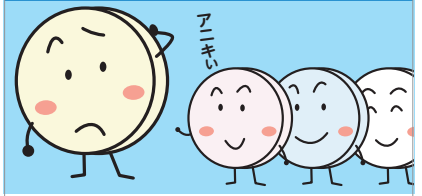
用語解説 02



外用薬（がいようやく）

皮膚や粘膜部など、体表に近い所に使う薬のこと。軟膏などの塗り薬やスプレーのほか、点眼薬（目薬）や点鼻薬、トローチや坐薬も外用薬の一種です。

用語解説 03



後発（こうはつ）医薬品

ジェネリック薬とも言います。新薬が一定期間を過ぎると、同等の効き目の薬が比較的安価に製造・販売されるようになります。より服用しやすいように、味や大きさなど改良されたものもあります。

用語解説 04



頓服（とんぷく）薬

「食前」「食後」、1日2回など、決められた時間に使用する薬とは違い、「痛い時」や「発熱の時」など、**症状が出た時にだけ使用するお薬**です。（症状が出なければ飲む必要はありません。）
続けて使う際の間隔が決まっている場合は、その指示に従ってください。

用語解説 05



痛い時のお薬

決まった時間ではなく、「痛い」症状が出た時にだけ使用するお薬です。（症状が出なければ飲む必要はありません。）
続けて使う際の間隔が決まっている場合は、その指示に従ってください。

用語解説 06



熱のある時のお薬

決まった時間ではなく、「熱」の症状が出た時にだけ使用するお薬です。（症状が出なければ飲む必要はありません。）
続けて使う際の間隔や、熱の目安（どれ位の熱で使用するか）などは、薬剤師の指示に従ってください。

用語解説 07



点眼薬・点鼻薬

点眼薬：目薬のこと。
点鼻薬：鼻から入れる薬のこと。
複数の薬を続けて使うと、それぞれの薬の効果が薄れることがありますので、使用する間隔など薬剤師の指示に従ってください。

用語解説 08



含嗽剤（がんそうざい）

口中の炎症を抑えたり、抗菌を目的としたうがい薬のこと。飲み薬ではありませんので、うがいの後は吐き出してください。

用語解説 09



坐薬（ざやく）

主に肛門から入れて使用する薬のこと。
「座って飲む」薬ではないので注意してください。

用語解説 10



処方箋(しょうほうせん)

医師が診断し、患者に投与するための医薬品を書いた指示文書のこと。
処方された薬は、自分の判断で使う量を変えたり、途中で使用を中止したりしないでください。

用語解説 11



既往歴(きおうれき)

これまでににかかったことのある病気や治療などのこと。
今の病気の診断や治療方法の判断等の手掛かりとなります。
薬の副作用やアレルギーなどの情報なども漏れなく伝えましょう。

用語解説 12



ステロイド剤

アレルギーなど、体の過剰な免疫反応を抑える働きがあります。
優れた抗炎症作用がある反面、副作用もあるので、医師・薬剤師の指示に従ってください。

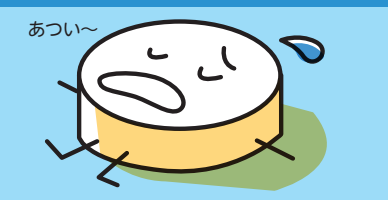
用語解説 13



副作用

薬を使った際に、症状の改善など本来の目的以外で起こる、好ましくない働きのことです。
解熱剤で熱は下がったけれど胃痛がする、風邪薬で咳は収まったけれど眠気がある、なども副作用の一種です。

用語解説 14



薬の保管方法

薬剤師の指示に従ってください。
特に指示がない場合には、直射日光を避け、湿気の少ない涼しい所に保管してください。
温度の目安としては、
【室温】：1～30℃
【冷所】：1～15℃
【常温】：15～25℃
となります。

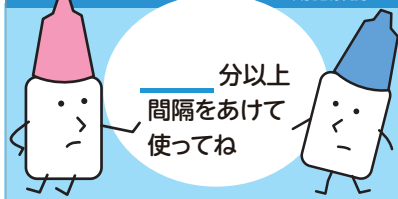
用語解説 15



食前・食間・食後

【食前】：食事の約 30 分前（食事の直前ではありません）
【食間】：食後 2 時間ほどたった後の空腹時を指します。「食事中」ではないので注意してください。
【食後】：まだ胃の中に食べ物が残っている、食事の後 30 分ほどの間を指します。

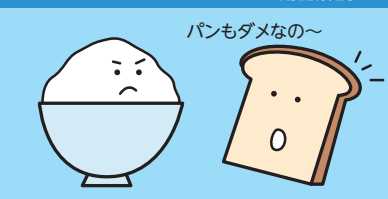
用語解説 16



目薬：○分あけて

複数の目薬を使用する場合、続けて使うとそれぞれの薬の効果が薄れることがあります。
「次の目薬を使う際には間隔を 5 分あけて」等指示することがありますので従ってください。

用語解説 17



検査前の食事について

「検査前日は 9 時以降ごはんを食べないように」等指示する場合がありますが「ご飯以外（例えば麺類）なら大丈夫！」ということではありませんので注意してください。
水や水分は大丈夫な場合がありますので確認してください。

用語解説 18



コップ一杯の水

「たくさんの水」という場合もあります。薬をしっかりお腹の中に流し込むための目安が「コップ 1 杯の水」です。
少ない水で飲むと、薬がしっかり体内に届かない場合があるので注意してください。